

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/10/28(月)

イザヤ34章

エドムは、ユダを圧倒した国だった。
●主はエドムをどうすると言ったかな？
(5、9-13)

●ユダの民達は、自分が恐れている・憎しみの敵が倒れると聞いてどう思ったかな？想像してみよう。

★人の言動に「許せない！」「この人は自分の敵だ」と思うことはあるかな？神様は、ユダにもエドムにも等しく裁きを下すことができるし、赦しを与えることができる方です。人の言動を許せないと思った時、私達自身が神様に赦された者であることを思い出して、まず自分から愛せるように。“神様の赦し”がよく分からなければ、聖霊様がハッキリと教えてくださるように祈ろう。

2024/10/29(火)

詩篇61篇

●君はどんな時に神様に祈る？本当に辛いときや問題に直面したとき、まず第一に神様に頼ることができているだろうか？

●ダビデが神様に対して持っていた確信は何だろうか？

●4節「幕屋」とは神様を礼拝する場所であり、神様の臨在がある場所。ダビデが心から願っていたのは、いつも神様の近くにいることだったんだ。君は神様を近くに感じているだろうか？心を開いて神様に祈ってみよう！

2024/10/30(水)

詩篇62篇

●問題が起こったとき、私たちは神様に頼る前に自分の力で何とかしようとするものかもしれないね。「黙ってただ神を待ち望む」とは信仰によってのみできることだ。今この瞬間も、今日の予定ややることで心が慌ただしい中にあるかもしれないね。「黙ってただ神を待ち望む」姿勢で神様に目を向けよう。

●5-8節を声に出して読んでみよう！読むことを通して与えられる信仰によって、神様の前に祈ってみよう！

2024/10/31(木)

詩篇63篇

●ダビデは荒野で水がなくてピンチだったけれど最近ピンチだったことはあるかな？

●また、その時祈る事はできたかな？

●ダビデは命をねらわれて荒野に逃れてきたよ。逃げてきた荒野は水の少ない過酷な環境でダビデは、死んでしまうかもしれないピンチになった。だけどダビデは神様を見失わないで祈ることができたんだ。私たちはピンチの時ほど神様を忘れがちだけど、神様はいつも私たにのそばにいるよ。ピンチのときだからこそ、いつもいてくださる神様といっしょに乗り越えよう！

2024/11/1(金)

詩篇64篇

●ダビデは自分が直面する困難を神様に訴えているね。どんな困難だったと思う？3v苦いことばの矢、4v不意打ち、6v企みなどから想像してみよう。

●1vを読もう！ダビデは困難がある時に、自分が置かれている状況を聞いてくださって祈ってる。きみは自分の状況を話すみたいに祈ったことはあるかな？「神様、聞いてくださいよ」と話すように祈ってみよう。

2024/11/2(土)

詩篇65篇

ダビデは、神様の前に静けさがあると告白して神様がどんな方かをことばにして賛美しているね。ダビデは素晴らしい信仰を持っている人だったけど、同時にたくさんの罪も犯してきたことが聖書を読むと分かる。

でもその中で神様の赦しと救いもたくさん受けて、神様の愛を体験してきたからこそ、心から神様の救いと恵みを賛美できたのかもしれないね。

自分にとって神様に背いている罪は、どんなところにあるか考えてみよう！そして、神様の前に悔い改めて、赦しを受け取っていきましょう！

2024/11/3(日)

イザヤ35章

預言は、神様の祝福があふれ、生命が湧き出る情景を描きます。イスラエルの乾いた地に水が満ちることは、死から生命への転換を象徴しています(34:13-17参照)。特に驚くべきは、この祝福が罪深い民に向けられている点です。「贖われた者」として、神様は罪深い者に救いと赦しを約束されています。神様の決意は固く、たとえ敵であっても救おうとされるのです。神様の熱意を知るとき、この私たちもまたその愛の対象であることに気づかされます。

考えよう：神様がこのような驚くべき救いをもたらした理由は何でしょうか。